

インド、注目の金融政策決定会合で0.25%の利下げ

情報提供資料 2019年2月8日

2月7日、インド準備銀行（RBI、中央銀行）は、ダス新総裁が就任して初めてとなる金融政策決定会合において政策金利を0.25%引き下げました。また、同時に政策スタンスを従来の「調整された引き締め」から「中立」に変更しました。金融政策の内容と、今後の見通しについてご説明します。

➤ 注目された金融政策決定会合 0.25%の利下げ

■ 2月5～7日、RBIは定例の金融政策決定会合を開催しました。前任のパテル総裁の辞任を受けて昨年12月に就任したダス新総裁のもとでの初めての決定会合であり、2月1日に発表された2019/20年度の国家予算案で財政赤字削減目標の緩和が示された直後であったことから、注目を集めていました。政策金利についての市場の事前予想は、据え置きが大勢であったものの、12月の消費者物価指数（CPI）上昇率が前年同月比+2.2%とRBIの目標レンジ（4±2%）の下限に近いこともあり、一部では強い利下げ期待がありました。

■ RBIは政策金利であるレポ金利を0.25%引き下げ、6.25%としました。2018年は利上げが2回行われており、利下げは2017年8月以来です。金融政策評議会の6人の委員のうち2人が据え置きを支持し、ダス総裁を含む4人が利下げを支持しました。また、政策スタンスについては、全会一致で「調整された引き締め」から「中立」に変更されました。

■ RBIは、足元の食品価格の下振れや、燃料価格が予想以上に落ち着いていることなどを指摘し、2019年のモンスーン期の雨量が平年並みになると仮定して、今後のCPI上昇率の見通しを引き下げました。直近発表された国家予算案で打ち出された複数の政策により、可処分所得が増えて需要が増加することが見込まれるものの、その効果が現れるには時間がかかるとの見方を示しました。

【政府の財政赤字目標（対GDP比）】

	2018/19年度 予算案発表時	修正後*
2018/19 年度	3.3%	3.4%
2019/20年度	3.1%	3.4%
2020/21年度	3.0%	3.0%

* 2019/20年度予算案で示された修正後目標。
（出所）インド財務省のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

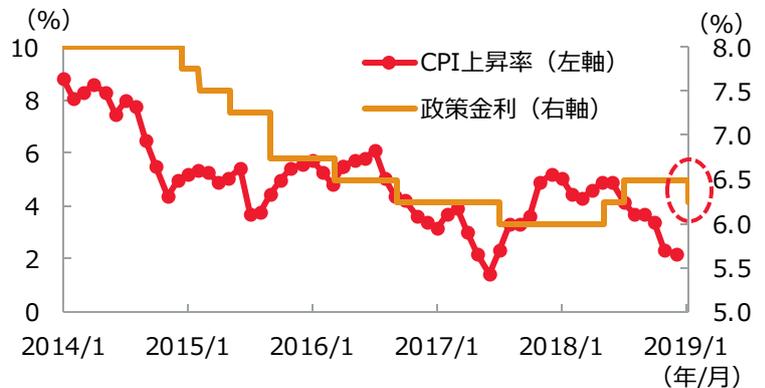
【RBIの消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）見通し】

	2018年10月- 2019年3月**	2019年 4-9月期	2019年 10-12月期
前回	2.7%~3.2%	3.8%~4.2%	-
今回	2.8%	3.2%~3.4%	3.9%

**今回は2019年1-3月期の予想

出所：インド準備銀行のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

【CPI上昇率と政策金利（2014年1月31日～2019年2月7日）】



※現在のインド準備銀行のCPI上昇率の中期的な目標水準は、4±2%。

出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。CPI上昇率は2018年12月分まで（2014年12月までは旧基準（2010年=100））、2015年1月以降は新基準（2012年=100）による統計。

➤ 金融市場の反応

■ 2月7日の株式市場は、一部の強い利下げ期待で前日までに上昇していたため、代表的な指数であるSENSEX指数は前日比横ばいとなりました。債券市場でも一定程度は織り込まれていたと見られますが、利下げを受けて10年国債利回りは前日差-0.04%と低下（価格は上昇）しました。

➤ 今後の見通し

■ 4～5月に予定されている5年ごとの総選挙を控えて、政府は拡張的な国家予算案を示しました。また、今回RBIが足元のインフレ率の落ち着きを背景に政策金利を引き下げたことから、今後の景気拡大が期待されます。短期的にはインフレは落ち着いた状況が続くことが見込まれており、4月の次回会合での追加利下げの可能性も考えられます。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会